

上越市議会議員 丸山 章 だより

全力で皆様の声を市政に!!

# 隕石の里から

いん

せき

さと



第16号 令和6年11月 発行責任者 丸山 章 / 上越市清里区馬屋777

## “目新しい内容ほぼゼロ”

### 今までの施策に継ぎ足し程度の感否めず

市長は、地域の歴史や文化を観光資源として磨き上げることにより、観光の活性化を図るとともに、持続可能な地域資源として後世に伝承するため、上越市通年観光計画（令和6年度～令和12年度までの計画）を策定したが、果たして、この度の計画で磨き上げができるのか、不安は募る。特筆すべきは、三つのエリア（高田・直江津・春日山）に重点を置いた計画であるが、市長の公約（以下）を通年観光へと導く内容になったのか、お茶を濁す程度の計画になったことは否めない。



以下は、令和6年1月・3月・6月議会一般質問、委員会質疑

**着眼**  
**通年観光**  
**開眼するか**

市長公約  
市長の提唱する  
「通年観光」の公約

①雪国文化の「雁木町家」「寺町」の町並み整備・保存。

②町家・古民家を整備し、観光資源として「通年観光」を実現する。

③えちごトキめき鉄道や軽便鉄道と連携して、「鉄道博物館」をつくる。

④春日山城を上杉謙信公の聖地とし、本格的な観光地に整備する。

問／空き古民家・町家の活用にあたり、愛媛県大洲市の取組を参考にしたいようだが、当市の城下町の歴史的町並みを保全するうえで、大洲市の取組は当てはまるのか。上越バージョンはどのような体制・取組になるのか。

答／複数の団体の連携を深化し、地域を一体的にマネジメントする組織が必要と考えているので、大洲市の事例が、当市に当てはまるものではない。市民団体等と意見交換を重ねながら方向性を見出していく。

### 高田地域

総事業費：2億3,400万円

＝主な計画内容＝

- 浄興寺大門通り修景整備計画の策定・整備  
……道路、電柱、街灯、橋等の修景整備計画を策定し、整備する。 事業費：1億300万円
- 街並み保全に資する既存支援制度の拡充  
……雁木や町家による町並み保全の支援強化 事業費：3,000万円
- グリーンスローモビリティ運行……実証実験を踏まえ運行する。 事業費：4,900万円
- レンタサイクル整備……高田城址公園周辺で整備する。 事業費：1,300万円
- 枅形門再現可能性調査研究……再現可能性を調査研究する。 事業費：1,300万円



高田小町

問／貴重な文化財産である雁木町家は、条例がないとその都度整備の考え方が変わり、街並みが損なわれてしまうため統一した町並みを保つには条例が必要になる。

部長／雁木町家に関して、条例で建物に対する規制をかけることは考えていない。雁木町家が歯抜け状態になったら価値が落ちてしまう。観光振興に向け、どのような街をつくりたいのか、しっかり示さないと通年観光へと導くことはできない。

副市長／雁木町家の保存に関して、今まで継続した取り組みがなかった。金沢市・京都市は、条例に基づき何十年と取組を続けてきた結果が今の街をつくり上げている。当市も住民合意の下、条例制定すれば、この先も町並み保存が継続できると思うので、実現に向けて合意形成を図っていききたい。

# 副市長とあきら 認識一致

## 雁木町家保存条例関連

令和6年3月定例会一般質問

問／雁木町家保存条例に関して、通年広域観光推進特別委員会で必要性について副市長に問うた際、副市長の考え方は私と一緒にだつた。早急に条例を作るべきである。

部長／条例を作ることを検討しながら進める。※令和6年1月通年・広域観光推進特別委員会答弁を要更

副市長／住みやすさが前提の雁木町家であるうえ、火事、大雪等の考え合わせも大切である。観光客、景観等に配慮しつつ、住民との合意形成を前提に取り組んでいきたい。

問／やはり私の考え方と一致。市長、何時頃までに決断するのか。答／地元との合意形成が必要だ。問／市長公約でありながら、既に2年以上経っている。合意形成のための動きを聞きたい。

答／地元へ赴いて現場の人たちと意見交換してきた。問／話し合いの内容は。答／どのような方向性で通年観光が進むかについて話した。

問／雁木町家について、市民の反応は。答／活動している皆さんとの話し合いで、地元の町内会長等とは話していない。問／雁木町家に関して、地元町内会長に何も話していないとは信じがたい。

問／職員に話し合いを進めるよう指示したのか。

答／指示している。問／職員からの情報はこのようなものか。答／逐次報告を受けている。

### ◆意見

今の答弁からして内容把握をしていないと推測した。大事な施策なので職員と情報共有しつつ、市民との対話を進めてほしい。

### 一考

#### スピード感のなき際立つ！7年かけてこれだけ？

高田地区の通年観光計画は、検討4件、研究1件、支援制度の拡充が3件、社会実験が1件となっている。唯一の事業実施は、浄光寺大門通り修景整備計画の策定・整備、二次交通整備（グリーンスローモビリティ運行等）である。将来を見据えた大胆なビジョンを描けず、当たり障りのない計画となっていました。

雁木町家保存条例に関しては、早期の条例制定が必要との質疑を以前にしたにも関わらず、何も協議されずに来たことが判明した。市長の通年観光を推進するうえで、条例制定は外せないものでありながら、部長と副市長の認識のズレが生じて後日、部長は答弁を変更した。問題は、市長が適切な指示を出していれば進捗していたものの、部下に丸投げ状態であったことから施策の停滞を招いている。

## 小手先の施策に終始



直江津 D51 レールパーク

## 直江津地域 総事業費：10億500万円

### ＝主な計画内容＝

- 直江津 D51 レールパーク拡充整備  
……扇形庫の耐震改修、鉄道遺産展示、資料館等の整備。 事業費：4億6,400万円
- D51形蒸気機関車75号機移設・動態保存  
……圧縮空気を動力源とし、乗車体験や運転体験を行う。 事業費：6,400万円
- 直江津屋台会館・海浜公園環境整備……新たな観光産業、賑わい拠点の創出、まちづくり組織の検討を目的とした社会実験を踏まえた環境整備。 事業費：1億6,300万円
- 船見公園環境整備……上記の社会実験を踏まえた環境整備。 事業費：1億7,000万円
- 街灯及びオブジェ等整備……誘導や歓迎ムード演出のため整備。 事業費：5,600万円

問／街灯、オブジェの整備とは、どの程度の計画なのか。

答／街灯は、海沿いの雰囲気を見せるため、船見公園沿いの設置を見

ひと言

訪れた人が新鮮な気持ちになれるように特徴を出すことが大切で、五感で感じるような観光施策を推進しないことには通年観光へ導けない。

※旅行先を選ぶ際に最も重視することは「リラックス・癒やし(85.2%)」、次いで、ほぼ同列数値で「見たことのない風景や景色(84.6%)」がランクイン、「非日常体験ができる(70.6%)」等(2018年7月11日観光経済新聞の掲載記事より)

問／小手先に終始した企画では、目新しさがなく観光客が「いいね」、また「直江津にきたいね」とはならない。特徴のある街づくりを、上越地域でキッチンカーが増えていることを踏まえ、海浜公園や船見公園で色々な社会実験を行いながら今後をつくっていく。問／私が提言した特徴ある「オーシャンヒストリーロード」をつくる。観光客が新たな体感を味わってもらえる施策が必要でないのか。答／何億円もかけてオブジェ等をつくる考え方は少し違うと思う。人は物で来るのではなく、楽しいことがあるから来ると思う。計画を変える気はない。

一考

・当市は、五智公園のD51形蒸気機関車に6,400万円を投じて、直江津D51レールパークに移設、動態保存し、当該地を「鉄道博物館」に置き換える意向である。しかし、既にえちごトキめき鉄道(株)運営の直江津D51レールパークでD51蒸気機関車の体験を行っていることから、それを活用すれば足りることである。わざわざ、五智公園のD51形蒸気機関車の移設・動態保存に多額の費用を投じる価値があるのか、全国には特徴を持った多くの博物館があることから、期待される博物館になり得るのか、はなはだ疑問が残る。街灯に関しては、海沿いの雰囲気醸成のため、船見公園沿いに設置し、オブジェについては、訪れた人たちがオブジェと一緒に写真を撮り、SNSで発信することを期待することだが、どこにでもある光景である。魅力あるオンラインワンの直江津を演出する施策が欠けている。・「楽しいことがあると人が来る」とのこと。それならば楽しい施策を示せば良いが、無い状況では展望はない。〈観光施策で重要なのは、目先の視点ではなく大局的視点にたち特徴のある将来ビジョン、戦略のもと、強い意志を持って取り組みを推進することが最も重要である。〉

焦点 総事業費36億8千万円! 春日山地域 費用対効果?

上杉謙信公

市民の期待に応え得る計画か?

＝主な計画内容＝

- 観光拠点施設整備
    - ……休憩、飲食、物産、学習、貸室を備える。
  - 「総構」(第1期)……堀と土塁を復元整備し、植栽を行う。
  - 植林伐採……史跡保護を目的に、春日山城跡の北側の植林伐採
  - (仮称)馬場広場改修……修景整備し、飲食、物産機能を強化
  - 愛宕谷公園改修……黒金門ルートとして愛宕公園を改修
  - 春日山荘跡地整備……春日山荘を除却し、駐車場不足の備え等、活用策を検討
- 事業費:21億5,000万円  
 事業費:5億円  
 事業費:4千200万円  
 事業費:2億1,000万円  
 事業費:1億2,000万円  
 事業費:1億4,000万円

観光拠点施設 急ぐ必要性なし!

計画されている総構え等の整備により、当初は観光客等の増加が見込めるものの、問題はその先になる。他自治体と同じようなものをつくっても新味はなく、観光客増は限定的となる。オンラインワンの観光資源が整っていない以上、観光拠点施設を建設しても利用者の先細りは想定できる。税金を22億円投入する施設を閑古鳥が鳴くような施設にしないよう、しっかりと見極めることが重要であり、その後に建設しても決して遅くはない。現状の施設を活用しつつ、まずは唯一無二の観光資源を整えることが重要である。問／休憩、飲食等の施設をつくるとしているが、後々重荷になる施設になり得ることから、事前調査が必要でないか。答／同じような懸念を持っている。個人客が支流になりつつある今日、施設の大きさ等について、ニーズ調査を含め慎重に検討していく。

**問**／22億円をかけてつくる施設である。将来的な観光客の動向等をしっかり調査し、大きな赤字が発生しないよう慎重さが求められることから計画を先延ばしにした方が良いのでは。

**答**／非常に頭を悩ませた。令和12年度に謙信公生誕500年を迎えるにあたり、全国的に注目が集まり、観光客が訪れることが想定されることから、間に合うようなスケジュールにした。

**問**／一過性の「謙信公生誕500年」に間に合わせるため22億円を投じるとしているが、事業内容からして今後多くの観光客を呼び込めるとは思えない。

**答**／スケジュール上「謙信公生誕500年」にタイムシフトを合わせたもの。整備後の運営を課題としており、具体的な施設の在り方について慎重に決めていく。

**問**／調査結果によっては先延ばしもあるのか。

**答**／スケジュールが延びることにはある。

# 謙信公の居城 建設の必要性 大

## 復元に力を尽くすべし!!

### <文化庁の新基準>

令和2年4月17日に文化庁が発表した「史跡等における歴史的建造物の復元等に関する基準」によれば、新基準では、学術的調査を尽くしても規模、外部の意匠などの資料がなかった場合は「復元的整備」と定義し、従来の史実とは一線を画して、史跡等全体の保存及び活用を推進する観点から、資料が十分に揃わない場合でも観光客に説明できるようにすれば再建可能となった。

**問**／上杉謙信公の居城の復元的整備について、国と協議したのか。

**答**／令和2年に文化庁で新基準をだされたもので、協議していない。

**問**／他自治体と同じ総構（土塁・堀）等の復元としているが、大事なポイントを整備せずに、観光客を惹きつけ、呼び込むことができるのか。

**答**／復元となると3つの要件がある。規模、構造、意匠が重要になる。歴史・史実に基づかないものは偽物ではないので、慎重に検討しなければならない。

**問**／文化庁に問うたところ、想像としての建物があれば復元的整備は可能で、すでに復元しているところはあるとのこと。文化庁と折衝する、しないかで大きな違いが生じる。行動を起こすべきである。

**答**／観光庁のレガシー形成事業で復元可能かどうか調査研究しているので、その成果を待ちたい。

**問**／待ちの姿勢ではなく、上杉謙信公の居城の復元的整備に向け積極的に働き掛けなければ、観光振興は進まない。

**答**／本計画は、山の形、総構（土塁・堀）などを復元し、後世に伝えていきたい旨の計画である。

**問**／春日山地域の観光が以前とは異なる観光になり得るとの認識なのか。

**答**／復元的整備をしたからと言って観光客が来るもの

ではないと思う。今あるものを大切にしていけることが重要と考える。但し、私どもの積極性については疑問を持っている。国・民間等に働き掛けて投資に結びつくような取り組みが必要と思っている。

令和6年3月 定例会 一般質問質疑  
現状打開の 気迫なし!

## 待ちの姿勢に終始!

**問**／上杉景勝が秀吉により会津に転封され、その後に入ってきた堀秀治によつて総構（土塁・堀）が復元されたものを復元したいとしているが、上杉謙信公の遺構に値するののか。

**答**／どの時代のものを復元するかに関しては、観光庁のレガシー事業の結果を参考に決めていきたい。

### 必須!再チャレンジ 居城の復元難しい

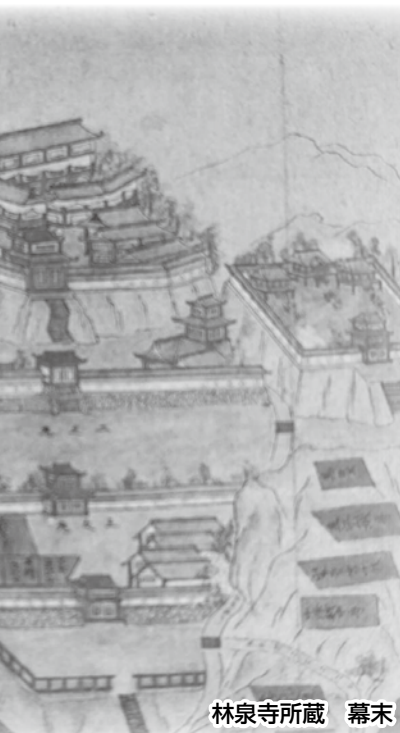
●国土交通省(観光庁)北陸信越運輸局は、2024年4月8日春日山城の建物が描かれたものは幕末になって登場したものと推定し、それを根拠にレガシー事業において建物を復元的整備することは難しいとした。また、発掘調査で城の遺構や遺物が出土したとしても、上杉謙信、景勝、堀氏という歴代城主の時代間隔が短く、どの時代に該当するかの確定が困難としている。

#### <あきらの意見>

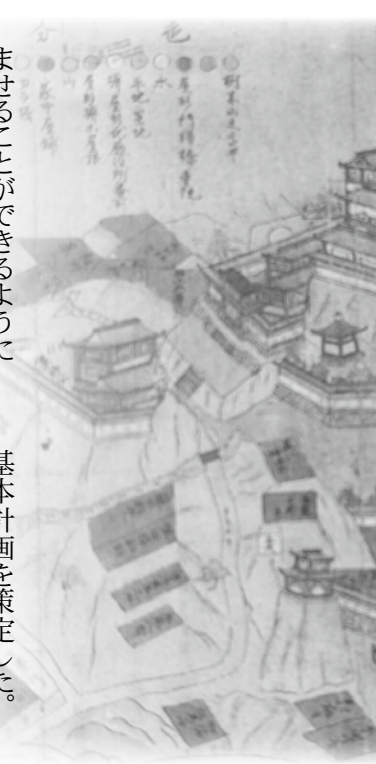
・復元的整備に関して、観光庁と文化庁の考え方の相違が見受けられるが、復元的整備の許可権限を有するのは文化庁であることから、文化庁と折衝することはとても重要である。市は、時に議会はもとより、地元(半数以上の同意は必須)、観光関係団体、経済界等の協力を得て、居城復元に向け積極的な行動が重要であり、直ぐにあきらめることは避けるべきである。市単独でも整備する価値は実に大きい。

**問**／今まで、堀秀治のことは触れず、上杉謙信公の遺構を残すとの説明であった。当市に歴史文化指導監がいる中で、今までも基本的な考え方を纏めていなかったのか。

**答**／堀秀治がつくった、つくらないではなく、春日山を後世に残すため、観光と



林泉寺所蔵 幕末



ませることができるよう  
すべきである。

答／歴史の検証で、こうだつたと断定することはありえない。調査の中から選択をしていく。

◆進言

私だつたら市民の賛同の下、直ぐに関係省庁に出向き、新基準に基づき謙信公の遺構（居城）の復元に向け、有りとあらゆる手段を尽くす。

問／本計画は、既に基本構想、基本計画はもとより、実施計画も示されている。この度も紙ベースの計画に7,000万円を投じるのか。アドバイザー等を依頼し、職員が中心になつて計画は作成できる。

答／実施設計に入る前の基本設計レベルについて、専門的な業者に委託したい。

問／当市は、愛媛県大洲市を参考にしたのであれば、大洲市の市長の方針のように職員で計画策定すれば半額以下で済む。私は職員時代にアドバイザーを依頼し2年間で基本構想と

基本計画を策定した。

答／大洲市は職員の他に金融機関等の力を借りながら実現したもの。そのやり方を真似ることはない。

問／委託業者は県外なのか。

答／基本的には全国の中から探していきたい。

問／県外業者であれば上越市のことは分からない。概ね決まった様式に内容を形式的に当てはめていくだけだ。この様な計画で上越市を発展へと導けるのか。

答／基本的に職員が中心になつて進め、アドバイスの部分を委託する。

問／新たな計画策定では、分からない点をアドバイザーに教えていただく認識で良いのか。

答／作成を支援していただく業務である。

問／まだ良く分からない。6つの計画は職員がつくるのか、業者がつくるのか。

答／専門的な知見に関しては一部業者に委託する。

問／業者から指導を受けながら計画をつくることでよいか。

答／その認識で良い。

一考

他自治体の史跡と同様の総構（土塁・堀）を整備しても、後年に春日山を統治した堀秀治が整備したとの説明書きになるため、上杉謙信公の遺構にはならない。一時的な観光客の増は見込めるものの通年観光に繋がると思えない。謙信公の遺構が肌で感じ、想像を膨らませることのできる観光資源は必須であり、唯一無二の市の魅力を示すことは重要である。※「観光政策」とは何かを改めて深考してほしいものである。

●あき町のしげやき●

人口減少を抑制するための政策（施策）として、私は起死回生の策である「少子化対策」「観光振興」「企業誘致」「移住対策」の4本柱を掲げ、様々なオンリーワンの政策（施策）の提言を行ってきた。この4本柱が融合することで様々な課題が改善・解消へと向かうなど、大きな成果が生まれることは明らかであることから、この度の上越市通年観光計画を大いに期待していましたが、蓋を開けてみてビックリ、目を覆いたくなる内容に愕然としました。市民の皆様が自信をもつて当市を自慢できるような誇れる都市へと変貌させる意欲がないことを強く感じました。小手先の計画で特徴を持たせることは難しいことです。オンリーワンの政策（施策）があつてこそ、通年観光に導けるものと確信します。

II地域づくりII 「地域独自予算」関連

急げ 地域づくりの構築

問／上越自治基本条例（最高規範）を踏まえ、地域振興に対する考え方を聞きたい。

答／住民、団体等、誰でも提案できるので、地域の特性が出ることを望んでいる。

問／本来、地域づくりは行政と地域（組織）が同じテーブルにつき、議論できる体制づくりを先行させるべきで、その後に住民自治、地域自治というのであれば大賛成だ。28区において、まずは地域づくりを推進できる体制をつくるべきでないか。

答／総合事務所等の職員も協力することを望んでいるが、そうでないなら変えなければならぬ。

問／市の直営事業（100%市負担）の場合、目的を踏まえながら判断しているとのことだが、分かりやすい判断基準等を示すべきである。

答／マニュアル化をしつつ、取組を通じて改善していく。

問／直営事業の無い区が

多いが、本来、行政で考え方を共有していれば、少なくとも各区から事業程度は提案されるはず、次年度からは至る状況は改善されると認識してよいか。

答／総合事務所等が協力して取り組んでいくという制度として固めている。答えにならず。

問／地域独自予算の要綱を作成するうえで、上越市自治基本条例の「公正」「協働」の文言を意識すべきであるが、重要な「協働」の文言が入っていない、地域と行政が知恵を出し合い、地域の課題等を改善していくうえで「協働」の文言は必須である。

答／各区に財源を配布するために、地域独自予算事業を行っていないわけではない。答えにならず。

問／要綱に「協働」の文言を入れなくて良いのか。

期待 地域に入り込む 行政の積極的行動

答／協働の精神で行っていく。

問／上越市の憲法ともいえる上越自治基本条例に「協働」が示されている。条例、要綱等を作成するうえで上位法令を遵守することは行政の基本である。行政は地域と同じテーブルに着かなくてはならないのか。

答／地域協議会は地域の団体と協議し、課題を把握している。地域で何をやるか調査してほしい旨お願ひしている。答えにならない。

問／地域づくりの課題に優先順位をつけることも、かつ補助金等を有効に活用し、事業規模を2〜3倍になるようにしながら、課題解決を図ることが肝要と考える。

答／地域独自予算事業に変更し提案できる制度に変えた。

問／質問に答えていない。  
部長／国・県の補助金があれば担当課につなぐようにしている。補助金の活用はしっかり行う。

一考

村山市政時代の地域活動支援事業は、2010年度〜2022年度までの間で、総予算22億円(内、18億円程の貴重な一般財源を投入)したが、地域の課題は解決されたとは言えず、同じ課題が継続しているのが実態だ。一方、中川市政で誕生した地域独自予算は今年度1億3千万円の予算が組まれ、今後、貴重な一般財源を投じていくことになるが、果たして村山市政時とほとんど変わらない内容で、市長が唱える地域づくりが進行するのか、はなはだ疑問である。  
※当市の一般会計で見込める歳入は、市税・使用料・財産収入等から生まれる自主財源が年間400億円位のほか、国からの地方交付税、国・県の支出金等の依存財源を合わせると1,000億円規模になる。これによって、歳出予算を組み各種の事業を執行している。

令和6年6月 定例会一般質問

副市長4人制・政策アドバイザー

またもや 決断できず!!

市長 残り任期 僅か1年4か月

問／副市長4人制等について、折に触れて説明したいと述べていたが、この度の答弁では、一般質問で説明してきたので説明する場面は設けないということか。

答／今は考えていない。  
問／一丁目一番地の政策である。新たに付け加えたい内容を含め、詳しく必要性を説いてほしい。

答／説明する機会は何回かあり、そこで説明した。問／新たな議員も誕生されたので説明してほしい。  
答／政治家の人数が少なすぎる。私は外に出ていきたいので、副市長4人に業務を分担させたい。

問／市長の任期まで、残り1年4か月しかないのに、副市長4人制等にして何の価値があるのか、実績が出るのか、仕切り直しすべきでないのか。  
答／今後も研究、検討を進めていきたい。

◆進言  
この期に及んで、また研究、検討していくのか。次期に向け今回は潔く諦めますと、きっぱりと市民に申し上げた方が市長の価値は上がる。

あきらの提言 受け入れへ

(令和4年6月議会で提言)

朗報 ファミリーヘルプ児童園

保護者が日曜、祝日勤務のために留守家庭になつてしまう場合、就学前のお子さんはファミリーヘルプ保育園に預けることができるが、小学校に入學すると、就学前に受けていた手厚い支援が打ち切られ、唯一の預け先は、1時間800円の利用料が必要なファミリーサポートセンターになる。若い世代の子育て負担の軽減のため、ファミリーヘルプ児童園の設置を提言してきたところ、名称は違えども、放課後児童クラブにおいて日曜、祝日にも開設することを決定。令和6年度より試験実施を始めた。

あきらのひびき

市民の皆様も注目されている政策について、今まで検討・研究を重ねてきたにも関わらず、この度も市長は決断できませんでした。進展しない理由は何なのか? 聞く耳を持たないのか? なぜそんなに頑なになるのか? 決断が遅くなればなるほど、世間的評価に影響を及ぼすと思うのですが...。市民の皆様はどのように思われるでしょうか。

【編集後記】

2016年4月の初陣の厳しい選挙戦を経験してからあつという間に8年が経過しましたが、この間、市政の課題、問題への対応など、様々な経験を積ませていただきました。これからも議会人として、緊張感を持ちながら市政発展に微力を尽くしたいと存じますので、今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。本年5月に新たな議会人事が行われ、三役の監査委員のポストに就きました。

寒いのが苦手な方にとつては、これからつらい季節になるかと思いますが、市民の皆様、お風邪などひかれませぬよう健康にご留意願ひします。

■あきらのHPの議会だより「提言」を掲載してありますので、ご覧いただければ幸いです。

ご相談、ご意見等は お気軽に  
市議会議員 丸山 章  
携 帯 090-4724-0574  
TEL 025-528-3859  
FAX 025-528-3859  
Eメール(新アドレスになりました)  
amaru103@yahoo.co.jp  
ホームページ 丸山章